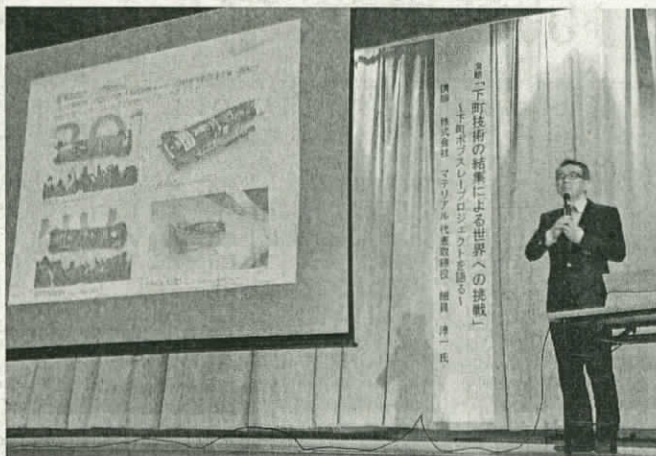


ボブスレーで五輪挑戦

夢へのプロセス 歴史に

下町ボブスレープロジェクトについて
講演する細貝さん

宇都宮
陽東中 東京下町の社長講演

【宇都宮】陽東中で28日、人生の先輩に生き方を学ぶ講演会が開かれた。国産ボブスレーネットワークプロジェクト推進委員会セネラルマネジャーで、東京都大田区のアルミ加工会社社長細貝淳一さん(51)が「下町技術の結集による世界への挑戦」と題して講演した。

全校生徒約830人がボブスレー開発への熱い思いに耳を傾けた。細貝さんは経済的理由から定時制高校に進学。友人らから取り残されるような恐怖の中「努力すれば自分にもチャンスがあるので」と思い至ったエピソードなどを紹介。「夢は一つではなく、たくさん持つこ

とが大切。それに向かうプロセス、手段が自分の歴史になる」と述べた。ボブスレー開発については「ものづくり大田区」を世界に発信する町おこしの一環であると説明。2度の五輪不採用を経験したもの

の「途中でやめては負けを認めることになる。限界値まで挑戦し続けることが鍵」「真剣にやることで人の輪ができ、その出会いが自分を成長させてくれる」などと語った。

生徒会長の2年大桶統士さん(14)は「困難なことこそ挑戦する価値がある」と思った。今日学んだことをこれから生活に生かし、将来、細貝さんのように大きな仕事を実現したい」とお礼の言葉を述べた。(岩村由紀乃)

「人生の先輩の生き方に学ぶ」講演会
下町技術の結集による世界への挑戦
～下町ボブスレープロジェクトを語る～

